

2011.05.27

ご支援をいただいたみなさま

お父さんたちのネットワーク世話人
石垣政裕

支援物資のご報告No.4

亀裂の入った、まだ大きく段差のある道を通って石巻市の万石浦小学校まで自転車を運びました。自転車は仙台では大きな自転車店や有志の方からいただきました。また、今回は仙台市泉区にあるプロテスタント系の教会から軽トラックをお借りすることができました。みなさまに感謝いたします。

混雑する高速道路を避け、利府街道から松島、松島から佐沼街道で鹿島台へ走りました。「…街道」という呼び名は「…自動車道」より軽トラックにはよく似合う。荷台に8台の自転車を積み込んでいるので慎重に運転していた…というより、マニュアル車は何十年かぶりで運転するので、ひとつひとつ確かめながらの運転でした。積み荷の方はおおかた前日、自転車屋さんの「熟練した」積み込みと二重のロープ掛けを学んでおりましたので安心でした。



8台の自転車を積んだ勇姿

鹿島台で、鹿島台小おやじの会（現在休会中）の照井さんと落ち合い、奥さんの激励も受けて一路万石浦小学校に向けて出発しました。照井さんのワゴン車には3台の自転車が積み込まれています。計11台。

照井さんが予めルートを調べていて下さって「日和大橋が開通しているので最短距離を行きましょう」ということで、県道16号をひた走りました。あとはついていだけで、最初はとても楽な運転でした。

鹿島台の田植えの終わった田園から石巻の市街地に入る。津波のあとがまだ生々しい。道端の木の芽も、やっと萌え出たばかりです。工場地帯に入りました。日和大橋に近づくとつれて渋滞が激しくなり橋の手前ではとうとう動かなくなっていました。それにしてもこの地帯の被害は甚大です。その風景の中に、同じ宮城県の中に私たちもいるんだという意識を何度も何度も呼び起こします。

小学校に着いたのはすでに昼休みも過ぎる頃。校長先生、教頭先生に出迎えていただき、自転車を並べました。幸いにもこの学校だけは、津波が来なかったというお話を伺いました。津波が万石浦へ拡散したかも知れないと地図で教えていただきました。校舎が使えなくなった中学校の一つの学年がこの小学校の教室を借りて授業をしているそうです。

万石浦小学校校舎は、津波の直接的な被害はなかったものの、地域は地盤が60cmも沈下しているようで、大潮の時などは通学路が冠水して通学が困難になるそうです。これらの自転車はその通学路をパトロールするために使われるのだそうです。

感謝の言葉をいただき、わたしたちお父さんたちのネットワークの「地域に寄り添った活動」が少しずつ、軽トラックをマニュアルで動かすように始まったんだと身の引き締まる思いを感じつつ、この地域子どもたちが安心して登校できる日が早く戻ってくることを願わずにはいませんでした。



相澤校長先生と鹿島台おやじの会の照井さん